

# PIAJ認証基準

KISTECを含むPIAJ推奨試験機関で試験を行い、下記の基準を満たすことが必要

試験規格	PIALマーク認証基準							
	試験サンプルの種類 (試験方法)	試験微生物	試験条件	抗菌/抗ウイルス 活性値	光照射による効果	光照射による効果 0.3未満の時の 追加試験*	ハイブリッド製品 認定の基準 (暗所での効果)	ハイブリッド 追加試験**
JIS R 1702 (紫外光、抗菌)	平板 (フィルム密着法)	・黄色ブドウ球菌 ・大腸菌	照度:0.25mW/cm <sup>2</sup> 以下 作用時間:8時間(下限4時間)	2.0 以上	0.3 以上	あり	JIS R 1702 付属書A(別試験) 活性値2.0以上	なし
	繊維 (ガラス密着法)	・黄色ブドウ球菌 ・肺炎桿菌					JIS L 1902 (別試験) 活性値2.0以上	なし
JIS R 1706 (紫外光、ファージ)	平板 (フィルム密着法)	バクテリオファージ Qβ	照度:0.25mW/cm <sup>2</sup> 以下 作用時間:4時間(下限2時間)				暗所活性値 2.0以上	暗所8時間まで 延長可
JIS R 1752 (可視光、抗菌)	平板 (フィルム密着法)	・黄色ブドウ球菌 ・大腸菌	照度:500lx (TypeBフィルタ) 作用時間:8時間(下限4時間)				JIS R 1752 付属書A(別試験) 活性値2.0以上	なし
JIS R 1756 (可視光、ファージ)	平板 (フィルム密着法)	バクテリオファージ Qβ	照度:500lx (TypeBフィルタ) 作用時間:4時間(下限2時間)				暗所活性値 2.0以上	暗所8時間まで 延長可

**\* 追加試験:**

光照射による効果0.3未満、加工品×暗所の菌/ファージ数が100未満のとき、照射時間の短縮、照射強度の増強(いずれもJIS範囲内)、および試験液中の有機物を増やすなどの条件下で行う試験。この追加試験で、光照射による効果が0.3以上であれば、PIAJの認証マークを取得することができる。

**\*\* ハイブリッド追加試験**

JIS R 1706およびJIS R 1756において、所定作用時間での暗所抗ウイルス活性値が2.0未満のとき、最長8時間まで暗所での静置時間を伸ばすことができ、その時の抗ウイルス活性値が2.0以上であれば、ハイブリッド製品として認証を受けることができる。

注)その他、「効果の持続性」および「安全性」についての試験が必要となります。(詳細はPIAJのホームページを参照 <http://www.piaj.gr.jp/roller/>)